

くめじま

議会だより

2020.3.2

No. 71

12月定例会

- 12月定例会・臨時会で決まったこと …… 2P
- 子ども議会の様子 …… 2～9P
- 感想文（一般質問） …… 10～16P
- 町政を問う 一般質問 …… 19～27P
- 第2回子ども議会を終えて・編集後記 …… 27P
- 議会のごき・傍聴へ行こう …… 28P

久米島町子ども議会

11月7日（木）午後2時～



久米島町子ども議会（球美中学校・久米島西中学校3年生）の様子

久米島の人口・世帯数(2019年12月末現在)

男: 4,144人 女: 3,628人
 計: 7,772人 世帯数: 3,980世帯

令和元年12月(第11回)定例会は、12月17日から19日までの3日間の日程で行われました。定例会では、議案7件、諮問1件、発議1件を審議し、すべて原案どおり可決・採択しました。18日、19日の一般質問では、11人が登壇し、活発な審議が行われました。

12月定例会で決まったこと

令和元年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算(3号)
93億1257万円(9788万円増)
- 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
10億1207万円(25万円増)
- 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
8486万円(30万円増)

土地の取得について ※全員賛成

土地の所在地 島尻郡久米島町字大原加佐瀬 1516 番 2
取得面積 5,729 平方メートル
取得予定額 5,843,580 円

委員の選任・任命 ※全員同意

- 人権擁護委員の任命
饒平名 美智子(字比嘉)

条例の改正 ※全員賛成

- 風の帰る森交流施設条例
風の帰る森本館(仮称)を開設することに伴い、その設置及び管理を行うため条例を制定する必要がある。

●久米島町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例

成年後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の公布に伴い、消防団員の欠格条項における成年後見人等の権利の制限に係る措置について適正化を図る必要がある。また、消防団員の服制については、消防組織法により規則で定める必要があることから、本条例中の規定を削る必要がある。

●久米島町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、久米島町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例を制定し、必要な事項を定める必要がある。

議員提出 ※全員賛成

- 居宅介護支援事業所の管理者の資格要件に係る経過措置期間延長に関する意見書

令和元年度久米島町子ども議会

11月7日、久米島町議会議場で令和元年度久米島町子ども議会が開催されました。今回は、町立中学校を代表して14名が子ども議員として選出され、「中学校前に信号設置、中学校にプールがない事、特別棟のエアコン設置、校庭の整備、中高生の塾、通学路の安全管理」等学校生活に関する質問など、多様な質問を当局に投げかけました。質問には関係する課長が答弁したほか、町長や教育長も、子ども議員の質問に丁寧に答えていました。子ども議員たちは初めての体験に緊張しながらも、その重責を果たしました。なお、次のページから各議員の質問の前文を掲載します。

令和元年 久米島町子ども議会 一般質問一覧表

No.	氏名	学校名	質問事項
1	吉永 汐里 (ヨシナガ シオリ)	球美中学校	球美中学校前に信号設置が可能かどうかについて
2	野上 優唯 (ノガミ ユイ)	久米島西中学校	公共施設などにおけるソーラーパネルの設置について
3	新垣 希美佳 (アラカキ キミカ)	球美中学校	県道・町道の整備について
4	新里 竜二 (シンザト リュウジ)	久米島西中学校	久米島に来る外国人観光客誘致について
5	吉永 結 (ヨシナガ ユイ)	球美中学校	野良犬の増加について
6	仲道 正恭 (ナカミチ ショウスケ)	久米島西中学校	野良猫の対策について
7	富永 華名 (トミナガ ハナ)	球美中学校	久米島の free wifi 環境について
8	大田 明宏 (オオタ アキヒロ)	久米島西中学校	中学校にプールがないことについて
9	新垣 海矢 (アラカキ カイヤ)	球美中学校	道路沿いのさとうきび畑の管理について
10	新垣 ひなた (アラカキ ヒナタ)	久米島西中学校	中高生の塾について
11	伊良皆 唯斗 (イラミナ ユイト)	球美中学校	球美中学校の校庭整備について
12	與座 美穂香 (ヨザ ミホカ)	久米島西中学校	通学路の安全対策について
13	阿部 胡葉紅 (アベ コハク)	球美中学校	イービーチの更衣室について
14	上間 美采 (ウエマ ミコト)	久米島西中学校	特別棟のエアコン設置について

吉永汐里 議員

問 球美中学校前に
信号設置を

答 関係機関と相談



吉永 球美中学校では、毎朝登校時に校長先生が、生徒が横断歩道を渡る際に安全指導を行っています。しかし、それ以外の放課後などの時間帯や休日、地域の子供たちが道を渡る時に、危ない場面があります。役場前の横断歩道には信号があるが、それを活用すると、山城や真我里方面から来る人たちは、郵便局まで行き、渡り、戻ることとなります。球美中側から、Aコープや帰りのバス停に行くときは、役場前まで行き渡って戻ることになります。また、目の不自由な人が横断歩道を渡るとき、渡れず困っている姿を見たという話もあります。そこで、球美中学校前に信号の設置は可能かどうか質問します。

総務課長 道路交通法では、信号のない横断歩道に歩行者がいる場合、車は停止線前で減速して一時停止をしなければいけません。違反すると反則金が課せられます。球美中学校前についても、歩行者がいれば歩行者を優先させ横断させる必要があります。交通ルールを守ることが重要であり、そのためには、家庭や学校等で学ぶ機会を作ることが必要と考えます。信号機設置につきましては、警察が交通量、交通事故の発生状況、他の対策による事故抑止の可否なども考慮した上で設置の判断をすることになっておりますので、関係機関と相談しながら検討してまいりたいと考えています。

野上優唯 議員

問 公共施設などにソーラーパネルの設置を

答 避難所を優先に設置したい



野上 2015年大田町長が「クリーンエネルギー100%の島」を目指すとおっしゃっていました。また、私たち久米島西中学校3年生は、省エネについて学びました。そこで、カンジダム太陽光発電の見学をしました。設置されているパネルを見て、これを学校や、その他公共施設などの屋上に設置することで、ス

ペースの有効活用できるのではと思います。その理由としては、設置したソーラーパネルで発電し、その発電した電気を活用してエアコンをつけると、ある程度の電気をまかなえることができると思っただけです。また、そこで発電した電気を、停電時に使用し、避難所として利用できるかと考えてからです。また、他にも、街頭などにソーラーパネルを取り付け、発電した電気をそのまま使用することで、電気を引いてくる電線代などを抑え、使用することが可能です。

私が今回、なぜこのような質問をしたかというと、現在、久米島町の大半の電気を発電している沖繩電力では、化石燃料で発電しています。それでは、大量の二酸化炭素が発生してしまい、到底「クリーンエネルギー100%の島」は目指せそうもありません。それに、海洋深層水の温度差発電では、まだまだ時間がかかります。なので、今すぐにも出来、二酸化炭素の発生しない太陽光発電が最適だと思ったからです。学校やその他の公共施設にソーラーパネルを設置し、町のクリーンエネルギー活動が、率先して取り組むことは可能でしょうか。

プロジェクト推進課長 町内外問わず再生可能エネルギーの普及が遅々としている状況で、クリーンエネルギーに関して議会の場で議論できることは、「クリーンエネルギー100%の島構想」に、町民の関心が高まることにも、つながりますので、今回の議員の質問と提案に大変感謝申し上げます。

公共施設へのソーラーパネル設置については、電気代節約はもちろんです。自然災害による大規模停電が相次いでいる状況で、蓄電による施設内消費の方法が効果的ではないかと考えており、島内公共施設(町役場、小中学校、空港、公

民館など)における、設置可能性及び設置容量(需要)について調査を行います。また、海洋温度差発電設備にしても、1MW(町内の電気使用量の1/6程度)を設置した場合の、課題対応や事業性に係る調査を行います。

クリーンエネルギー100%を達成するためには、クリアすべき様々な課題もあり調査も必要ですが、そのためには町民の理解、協力が不可欠です。また、子ども議員の皆様には、町が小中学校で実施しているエネルギー教室に積極的に参加していただき、自然エネルギーと省エネ等について、どうすれば二酸化炭素が減らせるか、保護者と議論していただければと思います。

近年の自然災害の大規模化は、地球温暖化に起因するとも言われており、それを防ぐ手立ての一つとして久米島町全体が、率先して取り組むことは可能であり、大変意義のあることだと考えております。

野上 公共施設へのソーラーパネルを設置することで、電気代節約などが分かっているのに、なぜ、今まで行われなかったのでしょうか。また、この公共施設などにおけるソーラーパネルの設置についての議案が、計画・施行されるまでのくらくらいかかと考えますか。

海洋深層水の温度差発電は、久米島全体の電力をまかなえるまで、15年程かかると聞きました。それに、先日台風19号のニュースを見て、死者が75名も出たことを知りました。周りが海に囲まれた久米島に、もし、大きな台風が上陸することになったら避難せざるを得ないと思います。

そこで、避難所にソーラーパネルで発電した電気を蓄えていけば、突然、台風のような自然災害が起きても慌てずに、落ち着いて、行動ができると思います。この事

について、どうお考えになりますか。

【プロジェクト推進課長】 これまで久米島町では、ソーラーパネルを設置する家庭に補助を行うなど、民間へのソーラーパネルの普及を図ってまいりました。これは、再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が一定期間、買い取る制度（FIT）があるため、まずは、民間への普及を推進したほうが良いと判断したためです。しかし、電力会社が買い取る電気量には上限があり、久米島ではすでに上限に達している状況なので、ソーラーパネルを公共施設の屋根に設置することができません。

公共施設へのソーラーパネル設置については、最近の技術の進歩により、ソーラーパネルや電気を蓄える蓄電池のコストが低価格化していること、また、発電した電気を自家消費することも含め、本年度、調査を行い、できるだけ早い時期にソーラーパネル設置に取り組んでまいります。

また、議員がおっしゃられるとおり、災害時の避難所にソーラーパネルがあれば、非難した方々も安心して行動できると思いますので、避難所を優先にソーラーパネルを設置したいと考えております。

新垣希美佳 議員

問 県道・町道の整備を

答 植栽の撤去は可能

【新垣】 登校時、下校時に県道や町道の歩道を通して通学する時に、危険を感じる事があります。それは、歩道の脇の街路樹の幹や、枝が歩道側にはみ出して、通行の妨げになっており、しかた



なく、車道に出て歩くことがあることです。製糖期には、大きなダンブカーがその県道を頻繁に通るため、歩道を歩くときに危険に感じることが多々あります。

また、通学路以外でも、草がきちんと刈られておらず、歩道に雑草が覆いかぶさっている時もあります。地域のお年寄りや子供などは、散歩での移動も多く、観光シーズンには、観光客が歩いている姿も見ることがあります。車道だけでなく、歩道も含めての整備は、行政の仕事だと思えます。

そこで、どれくらい定期的に、県道や町道の点検が行われているのか、また、年間に県道や町道の整備にかかる費用はどれくらいなのか、質問と、歩道の整備は可能か。

【建設課長】 県道の点検及び清掃については、沖繩県から久米島町が委託を受け、作業を町内の業者が行っております。道路点検には、県が設置した道路灯の点検や10月の道路パトロールをはじめ、台風や豪雨の後には緊急点検を行っております。補修や倒木、土砂崩れなどが発生し、通行に支障がでた際には、沖繩県と連携を図りながら対処しております。

路面清掃及び草刈り作業については、路線により、年1回から3回を基本に行っております。道路パトロール及び清掃

の内容や回数については、沖繩県の作業仕様書によるものとなっております。

町道の清掃については、年6回行っておりますが、マラソンや各種イベントの前には適宜行うようにしております。設置点検については、パトロール中に発見した不具合箇所や、町民から寄せられた情報を基に、緊急性の高い箇所から補修を行っております。

費用は、平成30年度の実績で、県道については、沖繩県が直接整備する工事費を除き、町が受託する県道管理費が約二千七百二十三万円となっております。

町道については、道路改良工事に係る費用が約二億三千四百五十四万円補修に係る費用が約一千六百二十八万円となっております。

歩道整備は、県道につきましては沖繩県、町道は久米島町がおこないますが、町道の整備は毎年度計画的に行っておりますので、改修工事に合わせて歩道の新設や拡幅など改修してまいります。

【新垣】 平成30年度の町道の改修工事費、二億三千四百五十四万円、補修にかかわる費用が、おおよそ一千六百二十八万円とありますが、具体的にどの町道の工事・補修であったのか。

また、歩道の植え込みをコンクリートで埋めるなどの整備は可能か。

【建設課長】 町道の工事については、道路整備を行うにあたり、工事の範囲、工法、工事費などを決定するため、測量、調査、設計から行います。設計後、必要な用地の取得や補償について所有者の同意を経て、工事を実施しますので、改良工事費については、設計、用地、補償額を含む額となっております。

平成30年度に整備した主な町道は、大原下線、比嘉2号線、久米島縦断線、儀間ダム線、台風被害からの復旧工事とな

った飛行場城跡線などがございます。測量設計業務として、宇江城城跡線、儀間1号線、橋梁の安全点検などを実施しております。

町道については、367路線、総延長202Kmありますが、町道における損壊は、各路線において大小にかかわらず毎年数多く発生し、修繕を行っておりますので町道すべてが対象になっております。昨年度主な補修内容については、ガードレールの設置及び交換、側溝の補修及び交換、路面の補修及び舗装など、緊急性の高い箇所から対処しております。

歩道の植栽については、沿道環境の保全、道路利用者の快適性の確保、その他機能保全を目的として、道路の新設及び改良工事に伴い設置しております。整備については、国や県の補助金を活用しておりますので、整備後に植栽帯をコンクリートへ変更することは困難であります。設置後、数十年が経過し改良を必要とする道路や植栽により危険性が認められる箇所については、植栽のコンクリート被覆または植栽の撤去は可能だと考えております。

新里竜二 議員

問 クルーズ船誘致を

答 方針を検討

【新里】 来年には、世界的イベントである東京オリンピックが開催され、世界からもクルーズ船がきたりと、沖繩にも多くの外国人の観光客が来る事が予想されますが、世界一周クルーズ船の航路を見ても、沖繩には、石垣島や宮古島しか入っておらず、久米島がルートに入



ていないようですが、外国からの観光客を集めるために、どのような取り組みを予定していますか。

【商工観光課長】 外国から日本へ訪れる外国人旅行を「インバウンド」と称しており、近年はそのインバウンド入域の増加が、沖縄県や日本全体の観光成長の大きな要因となっております。本町におけるインバウンド誘客のこれまでの取り組みとしましては、観光協会による国外プロモーションの実施、町では英語・中国語・韓国語等の多言語パンフレットの作成を行い、推進してまいりました。

外国からの誘客については、観光振興の指針となる「第2次久米島町観光振興基本計画」においても、特に重視すべき施策である「重点項目インバウンド対応の強化」として施策を掲げており、今年度は観光協会によるプロモーション事業のほか、町で地域おこし協力隊を活用し、久米島の外国人観光客の現状や受け入れ充実に必要な環境整備、人材等について調査・情報収集を実施しているところです。今後その結果をとりまとめ・整理し、受け入れ環境の強化・充実、誘客プロモーションの戦略化といった集客の取り組みを更に推進していきたいと考えております。クルーズ船の受け入れについては、港湾整備等の大規模なインフラ事業が必要

となることから、まずは方針を検討したいと考えております。

【新里】 離島観光の活性について、議論をされた新聞を見ると、離島観光では、食事を不満に持つ人も多いと言われていますが、久米島町として、地元食材をいかした、取り組みなどはありますか。

【商工観光課長】 久米島には、生産量日本一を誇る「車えび」、「海ぶどう」をはじめ、「もずく」、「赤鶏」、「紅イモ」等の地域資源が豊富にあり、地域食材として飲食店やホテル等で提供されており、観光客や利用客に好評です。久米島の食資源の持つポテンシャルは非常に高く、第2次久米島町観光振興基本計画において「重点項目」として施策を掲げており「食のブランド化」や「新たな職の開発」等、取り組みを推進しているところです。

吉永 結議員

問 野良犬の対策は

答 捕獲と情報提供



【吉永】 僕たちの家の付近や、通学路によく鎖につながれていない、野良犬が徘徊しています。野良犬は、近くを通る

車や人に向かって吠えたり、追いかけてくる場合もあります。噛まれたりしないか非常に心配です。また、道路にも急に飛び出したりするので、車がそれをよけようとして、大きな事故にならない心配です。

通学路は、小学生や幼稚園生も登下校で使用するので、このまま放置することは、大きな問題だと思います。

海外では、犬にかまれた女性が、狂犬病にかかり、亡くなったという事例もあります。

町は、この問題を知っていたのか。また、今後どのように対処するのか。

【環境保全課長】 久米島町内において野良犬が数箇所確認されており、今後とも、動物愛護管理法及び久米島町飼育犬条例に基づき、飼い犬の飼養管理を適正に行うよう町民へ、協力をお願いする事により、犬による人畜その他に対し危害防止を図ります。そのことにより町民生活の安全保持に努めたいと思います。この問題は確認しており、何度も捕獲を試みていますが、まだ保護できません。

また、狂犬病予防注射も5月に2日間集団で行っています。現在、犬の登録数は430頭で、接種率は63%でした。

【吉永】 狂犬病予防接種の接種率が6割は、やや接種率が少ないように感じます。受けていない家庭へ町として接種を促すように対策を行っているか。

また、野良犬の件に関しては、町としては認識しているが、確保に至っていないとありますが、町内でのくらの頭の数の野良犬がいるのか、どこで徘徊しているかなど、細かい情報を認識し、それから情報を町民に知らせているのか。

【環境保全課長】 現在のところは、ラジカ放送にて呼びかけをしております。その都度、久米島町の広報でも周知してい

るところでございます。

野良犬については、確認できているのは2頭ほどでございます。細かい情報については、犬の行動範囲がかなり広域になる為、場所の特定ができていないところは、今後、お知らせいたします。

仲道 正恭 議員

問 野良猫の対策は

答 保護及び去勢・避妊手術を実施



【仲道】 私は、登下校の時や家から外に出て、出かける時によく、野良猫を見かけます。それは、野良猫にエサをあげている人がいて、繁殖している。つまり、飼い主がいなくても、野良猫が育つことのできる環境があるということです。

例えば動物病院と協力して、野良猫にひにん手術をすることは可能でしょうか。加えて、簡易的な保護施設を作って、一時的な保護をするなど、対処をお願いしたい。

【環境保全課長】 久米島町においては、

クリーンセンターに一時保護することは可能でございます。

現在、久米島町婦人会「ワンニャンヘルプ活動」と連携し、野良猫及び地域の猫の保護及び去勢・避妊手術を無料で行う事業を実施しております。この事業は、日本動物福祉協会の協力の下行われます。沖縄県では初めての事例として大変期待しております。

仲道 野良猫の対策については、分かりました。野良猫が増え、野生化してしまつと、キクザトサワヘビなど希少動物も捕食することになってくると思います。それに関連しますが、外来生物が発生するといった内容の番組が、よく放送されていますが、久米島町として、希少生物を外来生物から守る取り組みは考えていますか。

環境保全課長 外来生物に起因する問題は、各地にて取り上げられているところですが、久米島において、動植物40種余りの外来生物が報告されています。外来種が及ぼす生態系への影響については、久米島においても希少種の被害事例があることから、相応の影響があるものと危惧しております。まずは、多くの皆様に、その現状を知ってもらい「ペットを捨てない、逃がさない」など、町民一人ひとりが注意しなければならぬ事、あるいは、出来る事の周知を図っていかねばならないと考えております。また、環境省沖縄奄美自然環境事務所及び沖縄県と連携し、外来種の侵入防止等に取り組んでおります。久米島町においては、巡視員による、希少動植物の違法採取のパトロール・巡視を行っています。

富永華名議員

問 free wifi

答 サービスエリアの拡大を図る



富永 久米島町には、free wifi がありますが、利用できない箇所が多くあります。私たち中学生もインターネットで調べものをする機会が多く、free wifi を利用したいのですが、場所によってつながらない事が多いです。また、観光客からも free wifi がつながらず、不便という声を聴きます。

情報社会が進むなかで、久米島町として、free wifi 環境の整備についてどのように考えていますか。

また、今後 free wifi 環境を整える計画があるか。

プロジェクト推進課長 久米島町 free wifi は、ICT 利活用の実証事業として観光利用者等をメインに、県道一周線沿いにアクセスポイントを設置しており、実証期間終了後も、機器の耐用年数の範囲内でサービスを継続します。アクセスポイントがあっても、複数地点で繋

がらない状況については、実証事業として設置した機器が、既に製造中止となっていること、また、部品も入手出来ないため修理ができずにいます。そのために利用希望の皆様には、大変ご不便をかけしております。

このような状況であります。携帯端末やアプリを使ったサービスの普及など、情報化社会のなかで wifi サービスは、観光客にとっても住民にとっても、社会インフラのひとつとして認識されており、町としては、生活利便性向上及び観光や防災の観点から、再整備の必要性を認識しております。今後、公共による環境整備にとどまらず、民間通信事業者にも働きかけを行ないながら、サービスエリアの拡大を図ってまいります。

富永 町として、社会インフラの一つとして認識があるならば、早急に再整備・環境整備の働きかけをお願いしたいと思えます。

また、先日の台風で石垣、宮古などの八重山地区では、通信機器が一時使えなくなつたという話を聞きます。自治体によっては、災害対策用移動通信機器などを配備しているところもあります。

久米島町としては、このような災害時の通信ネットワークの確保に関する対策どのようなものになっているか。

プロジェクト推進課長 久米島町の災害時、通信ネットワークの確保については、町地域防災計画に基づいて整備しています。役場、消防及び沖縄県防災関係機関、国防関係機関との通信については、衛星や地上無線などによる通信回線を確保しています。また、回線混雑時の電話不通を想定して、各学校等公共施設に非常指定電話を設置しています。更に、町民が災害時に利用できる特設電話装置を町内9か所の公共施設内に整備しています。

大田明宏議員

問 中学校にプールを

答 時間をかけ協議が必要



大田 昨年の仲村航議員が質問していた、中学校のプール設置についてですが、プール設置はできないが、今後水泳学習を実施するかについては、球美中と久米島西中の担当教諭と協議をしていきたいと回答していますが、進捗状況はどうなっていますか。

周囲を海にかこまれた環境の島に住んでいるので、水難事故予防や陸上競技のトレーニングなどにもむすび付けたいので、中学校でもプールの授業が出来るような環境はつくれないでしょうか。

教育課長 今後の水泳学習についての協議の進捗状況ですが、両中学校の担当教諭と話し合いを行っているところでです。

実施に向けてはB G や小学校プールへの移動時間や安全指導体制の確保、運動会などの体育的行事との日程調整等の課題があることがわかりました。他にも解決しなければならぬ課題も

多く、実施するには時間をかけて協議する必要があると考えます。

しかしながら、議員がおっしゃるとおり、水難事故予防などに対応した学習の必要性もありますので、全生徒が参加できる水難事項防止の為の着衣水泳教室の実施に向けて学校と調整して参ります。

大田 BGプールなどの屋外プールはあるが、屋外プールは夏しか使えないので、年中使える屋内プールを建設してみてもどうでしょうか。

建設することで、水中運動をすることができ、生活習慣病の改善など、町民の健康増進の効果もあるので、前向きに検討してみてもどうでしょうか。

教育課長 屋内プールは、あれば理想的な施設ですが、一方で新たなプールを作るとなると建設費や運営、維持管理費など多くの費用がかかることが予想されます。

また現在、学校現場には校舎の耐震化など、早急に対応しなければならぬ多額の費用を要する課題もあります。

行政の仕事として、限られた予算の中で最大の効果をあげる必要がありますので、新たにつくる施設が久米島にとってどのくらい必要性があるのか等を見極めなければなりません。また、これらの財政負担はのちのち、町民にかかってくるので慎重にならざるを得ないのが現状であり、現在のところ新たなプールの建設については予定しておりません。

新垣 海矢 議員

問 道路沿いのさとうきびの倒伏対策は

答 久米島製糖と農家と協力



新垣 僕は、比嘉からイーフ方面に歩いているときに、危ないと思うことがあります。

道に大きくはみ出た、さとうきびを避けるため、そこを通る人と車が、接触しそうになる時があります。本来なら車2台分ある道路の幅が、さとうきびでふさがれて、1台分の幅しかなく、人も車も非常に通りにくいです。

さとうきびの葉などが道路にとび出ないように、行政で柵などを設置することが可能なかどうか、また、できないなら、行政側で公道をふさいでいる畑の所有者に、注意喚起などができないか。

産業振興課長 柵の設置につきましては、さとうきび畑の管理の問題も含めて農家の方々が良い対策を考えます。注意喚起につきましては、町民の方々から情報等が寄せられた場合は、久米島製糖工場の職員と協力し注意を行っております。また、同時にさとうきびの倒伏対策

として、農家向けのチラシを作成し区長会を通し配布しております。

新垣 ひなた 議員

問 中高生プロデュースの塾を

答 「まなびや」の先生に提案し、可能か相談する必要



新垣 久米島町には、「まなびや」という町営塾があります。自分たちで分らない部分を見つけ、学習支援員の先生方にきいて解決する、というスタイルの塾です。

私が中学校に入学した3年前から開かれていて、3年生と2年生、1年生や集めたい人と、友達と一緒に勉強したい人などとクラス分けするという工夫がなされています。しかし、波はあるものの、1日平均11人ほどで、それは3年間ほとんど変化していないそうです。その理由として、勉強や受験に対する意識が低い、勉強するきっかけがない、一度やる気になっても続けるのが難しいなどが挙げら

れます。

これを改善するには、自分たちで環境や学習内容をプロデュースして、自分たちでやる気ができるようにすることが1つの手だてだと思っています。

このことをふまえて、久米島町の中高生が自分たちで塾を作ることは可能でしょうか。また、その際の資金面での援助は可能でしょうか。

教育課長 議員がご指摘の通り、勉強は意欲とやる気を持たないと長く続かないと思います。また、生徒の皆さんにやる気を持たせるための方法として、中学生塾の環境や学習内容を自分たちでプロデュースして行うと言うアイデアは大変素晴らしい発想だと思います。

その実現のためには、まずどんな塾を作りたいのか、またどんな方法で実施したいのかなど、しっかりと計画書を作ることが一番大切なことだと思います。例えば、先生役を誰が担当しどんな学習内容及び教材を選ぶのか、また、対象生徒、実施日及び時間、場所などについて、しっかりと方針を決め、そして、その計画書をもとに、校長先生に「まなびや」の先生に提案して、可能かどうか相談する必要があります。

準備のために必要な予算については、できるだけ支援できるように教育委員会ですっきりと検討してまいります。

高校生の塾を作る際にも、同様な手順が必要だと考えます。

新垣 現在、久米島町の中学生の学力は、全国でも低いように感じられ、原因として、先程も述べたように意識が低いことが上げられます。

町内の中学生の勉強に対する意識を上げるには、2校で統一のテストを実施し全体の席次を出すなど新たな取り組みが必要だと思えますが、町の考えを教えてください。

下さい。

教育課長 毎年、4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施されている「全国・学習状況調査」の久米島町の結果を見ると、今年度は3教科の平均が沖縄県の平均より、プラス4、7ポイント、全国と比べても、マイナス1、2ポイントです。

平成27年度から毎年、成績は上昇しており、普段の授業や家庭学習で、がんばっている成果が表れており、大変評価されています。他にも「標準学力調査」や「沖縄県学びのたしかめ」沖縄県学力到達度調査」等、全国や沖縄県内の中学生が取り組んでいる各種調査があります。席次は出ませんが、全国や沖縄県の学力と個人の成績を比べることができません。テストの点数ではなく、自分がどの問題を間違えたか、これから、どんな所に重点を置いて勉強すれば良いか知ることができずるので、現在、実施されているテストの結果で、自分の状況を把握しながら、これからの勉強に充分に活用して頂けると考えます。

伊良皆 唯斗 議員

問 球美中学校の校庭整備を
答 学校及び財政担当課と調整する

伊良皆 僕たちの球美中学校のグラウンドは非常に水はげが悪く、陸上練習や野外の部活、運動会の際に非常に不便な思いをしています。激しい雨が一時的にでも降ると、すぐに水たまりができて、ほぼ1日使用することが出来ません。久



米島西中学校と比べても、非常に水はげが悪いです。

また、昨年度も今年度も運動会の際に、一時的に雨が降り、それを使用できるように整備するのに、非常に時間がかかりました。

久米島町として、今後球美中学校のグラウンドの状況を調査を行う予定があるか。

教育課長 球美中学校のグラウンド状況につきましては、水はげが悪い状況は把握しておりますが、本格的なグラウンド整備となると多額の費用がかかることから、緊急性を要する他の事業との優先順位を考慮し、検討してまいります。しかしながら、授業等における活動や安全性に支障がないように、どのような整備ができるのか、学校及び財政担当課と調整してまいります。

伊良皆 全面改修となると多額の費用がかかるかと予想され、改善されるまでに、何年、何十年と時間がかかることが予想されます。

生徒にとって大事な中学校3年間です。安心・安全で楽しく授業や行事もやりたいので、早めの対策をお願いします。表面に再生砂を撒いたり、塩化カルシウムを撒くなど、ある程度の費用で済む整備が早急に出来ないか。

教育課長 授業等における活動やグラウンドでの安全性に支障がないように、まずは調査を行った上で、どのような整備が可能か、又は、早急に出来る整備はどのようなものがあるかも含め、学校及び財政担当課と調整します。

與座 美穂香 議員

問 通学路の安全対策は

答 総合的に安全対策を講じる



與座 私は、登下校の時に危ないと思うことがあります。それは、久米島西中学校から字仲泊、字鳥島の区間において、通学路の一部、歩道のないところのことです。

そこを通る児童や生徒は、車が通る横の僅かなスペースを歩いていきます。ときどき、スピードを出して走行する車もいるので、見ていて危険だと思ふことがあります。

そこで、多くの児童や生徒が通学する道で、車が通るのに歩道がない区間への歩道の設置は可能でしょうか。加えて、久米島西中学校から字仲泊間において、

現在通学路として、利用している歩道の一部に危険だと思ふ箇所があります。下水路のふたとして使用しているものがサビしていたり、穴があいていたりして、ケガに繋がる恐れがある箇所が見られ、危険だと思ふことがあります。

さらに、街灯が少ないところでの中学生の下校が、危険だと思ふことがあります。部活動などで帰る頃、特に冬場は日没がはやいので、辺りはとても暗いです。街灯が少ない通学路へ街灯の設置を増やすなどの安全対策をお願いします。

建設課長 ご質問にある道路区間につきましては、県道だと思われませんが、一部歩道のない区間については、整備の際に用地の確保が出来なかったものと思われる。現在においても歩道整備に係る用地の確保が難しい区間だと考えております。

町としては県道の危険箇所について、沖縄県に随時整備を要請しているところですが、通学路として利用する道路については、優先的な整備を要望しております。町において補修可能なものについては、県と調整を図りながら対処していきたいと考えております。

防犯灯(街灯)の設置につきましては、前回の子ども議会や町議会でも要望がありました。町としても防犯灯の設置に係る整備費については、国及び県の補助事業により対処したいと考えており、現在も事業メニューを探している状況です。

與座 防犯灯の設置と通学路の安全対策については分かりました。ですが、台風や大雨などによって、排水口がふれることがあります。今年、過去最高クラスの大型台風19号が接近した日本列島では、多くの被害ができています。

このような自然災害によって通学路が危険に犯される可能性があります。自

然災害による通学路の安全対策については、どう考えますか。

建設課長 側溝の排水断面の大きさにについては、設計において周辺の地形、面積から側溝に流れ込むと想定される水量を算出して決定しています。

近年、世界的な気象変動により、50年100年に1度の確率で起こるとされている集中豪雨や大型台風が頻発するようになり、全国のインフラ施設において施設の能力を超える事態が発生しています。

本町においても集中豪雨が発生した際には、側溝の処理能力を超える雨水が短時間で低い場所へと集中、加速することによって側溝から溢れ出る原因となっておりますので、沖繩県に対し、改修工事の要請を行っているところであります。

日常における道路及び付帯施設の安全対策や維持管理において、損壊した道路・付帯施設の補修を行い、状態が悪く危険な道路については改良工事を行うなど安全対策を行っています。

大規模な自然災害による道路冠水及び決壊、河川等の氾濫などの非常時においては、久米島町防災計画、その他の計画など総合的な安全対策を講じます。

阿部 胡葉紅 議員

問 イーフビーチの更衣室改善を

答 適正管理に努める

阿部 先日、イーフビーチに遊びに行ったときに、ある観光客が「更衣室が汚くて、ここでは着替えができない。」という、声を聞きました。私たちもよくイーフビーチに行きますが、更衣室が汚



いと感じる人が多いです。イーフビーチは、日本の渚百選に選ばれたことのある、沖繩屈指の美しいビーチで、久米島の貴重な観光資源でもあります。

このようなことがあると、せっかく来た観光客も嫌な気持ちになります。再び久米島に來なくなる可能性があります。また、最近では、観光地の評価等はSNS等でも広まりやすいので、早急な改善が必要だと思えます。他にも、海で快適に過ごすために、ビーチパラソルの無料借出しも行ってみたいは、どうでしょうか。

この案をふまえ、町としてこのような事態をどう考え、どのように対処していくのか。

環境保全課長 イーフビーチ東屋の設置についてはかなり老朽化が進み大変古くなっております。清掃については、適正管理に努めています。本施設については、県立自然公園の一貫として沖繩県により建設されています。

久米島町が受託管理契約をしておりますので、故障箇所等が発生した場合は、その都度沖繩県に予算要求をし補修しております。

商工観光課長 ビーチパラソルのレンタルサービスについては、民間事業者が行っており、及ぼす影響を考慮しますと行政サービスとして実施する考えはあり

ません。しかしながら、質問のような細やかなサービスの充実、観光客の満足度向上や受け入れ環境強化に繋がるサービスと認識しており、観光振興施策に取り組み中で、町内の経済団体や事業所と連携しながら、その充実に努めてまいります。

阿部 イーフビーチ東屋施設の老朽化に関しては、町の方でも認識しているようですが、県にはその旨を報告し、強く要請しているのか。また、近隣の別荘所に久米島町独自で施設を建設する予定や、必要性を感じていないか。

環境保全課長 建物には耐久年数がございまして、本施設は、建設後、30年が経過している為、沖繩県が現在、長寿命化の調査を行っています。その結果次第で、この施設においては、補修して使えるか新設なのか検討するとのこと。

久米島独自で施設を建設することは、高額な予算が必要となる為、関係機関と別箇所での必要性があるか検討したいと思います。

上間 美采 議員

問 特別棟にエアコン設置を

答 理科室・音楽室を優先して設置

上間 現在、久米島町内の中学校は、職員室や校長室、図書館にエアコンが設置されています。そして、今年から、各クラスの教室にもエアコンが設置されることになりました。

しかし、特別棟には、エアコンが設置されていません。しかし、理科室は、5教



科の内の1つなので、授業時間が3年生は週に4時間、2年生は週に4時間、1年生は週に3時間あり、とても暑い中で授業を受けています。エアコンが設置されている教室に移動して授業を受けたくても、理科は実験があるので、理科室でしか、実験を受けることができません。

理科担当教諭によると、理科室の室温が高い時、薬品庫の湿度も急上昇し、湿気が原因になり、薬品が固まって、使用できなくなる事が毎年起こっているそうです。音楽室では、室温が高すぎると楽器の状態が悪くなり、演奏練習をする際に、吹きづらくなるそうです。

そこで、中学校への特別棟のエアコン設置可能かどうか。

教育課長 今年度予定していますエアコンの設置につきまして、まず全ての小・中学校の普通教室へ設置し、予算の範囲内で特別教室へ設置する方針で計画を進めています。

現在、どの学校のどの教室に何台設置するのか等を決める設計書を作成しています。この設計書が完成後、10月中旬にエアコン設置工事の発注をする予定です。議員の質問にもありますように主要教科である理科の実験等に支障があるとのことですので、理科室・音楽室を優先して設置できるよう進めて参ります。

子ども議会
に参加して

① 吉永 汐里 議員

私は今回子ども議会に議員として参加しました。昨年先輩方が参加したというのを町の広報で見ましたが、いざ自分が議員として参加するとなると気付く事、学ぶ事がとても多かったように感じます。中学生である私たちだからこそ思い付けるアイデアや発見できる課題もあったと思います。また、議会の仕組みや久米島町で行政が具体的にどのような仕事をしているのか学ぶ事ができました。

十八歳になれば選挙権が与えられ将来社会を作っていくかなければならぬ私たちに与えられるような機会が与えられるというのは、政治に対する関心が湧きとても身になる経験だと思います。

私たちのふるさとである久米島の未来を支えていくために、今回子ども議会に参加して学んだ事や経験を活かし、この島に貢献できる人になりたいです。

子ども議会
に参加して

② 野上 優唯 議員

私は、子ども議会というものをよく知りませんでした。でも、詳しく話を聞くと、自分たちの意見が議案として話し合われることで久米島の活性化や、住みやすさが良くなると思いました。生まれてからずっと、久米島に住んでいて不快だと思ふことは少なくありません。夜の道は暗かったり、野犬も多く、とても住みやすい環境とは言えません。そこで、久米島町の子ども議会で話し合うことができました。このような機会をくれた方々に感謝したいです。また、各課長の皆さん方は私たちの意見に、一つ一つ丁寧に答えてくださって、納得のいく解答を得ることもできました。

私が、今回の子ども議会に参加して良かったことは、久米島を良くしてくれる議員の方々と議案について話し合っ、議会の制度などを知れたことです。本当に、参加できて嬉しかったし、とても良い経験になりました。ありがとうございます。

子ども議会だより
第71号

3 新垣 希美佳 議員

私は子ども議会に副
議長として参加しました。
思いました。

副議長は、他の議員と同じく自分の考えを質問したり、議長が質問をする際に代理で議長を行ったりました。

議員の仕事は、議題について討論するだけなのかなと思っていましたが、実際にやってみると、事前に席決めや議長の採決、会期の決定などさまざまなおことをしていたし、自分の意見や根拠をまとめるのがとても難しいなど

子ども議会に参加する
という貴重な体験を通して、久米島の良い点や改善すべき点などを考える
ことができたし、以前より政治や議会というものに興味を持つようになり
ました。私達が住むこの
久米島の未来をよりよく
明るくするために、
自分達にできることを考
え続け、この島をより発
展させられる人材になれ
るよう頑張ります。

子ども議会だより
第71号

4 新里 竜二 議員

僕は、子ども議会に子
ども議員として参加しま
した。僕は久米島の外国
人観光客誘致について質
問し、再質問では久米島
の食産事業について質問
しました。外国人観光客
の誘致について久米島に
は、世界一周船のルート
に入っていないことにつ
て質問し、解答としては港
の整備が難しいという解
答でした。再質問は、久
米島の地元食材をいかし
た取り組みについて質問
しました。今回、久米島
の課題について様々な課
長に質問をして始めはと
ても緊張して少し早口にな
ってしまっていたので、し
っかり質問できたか不安
になったけど最後は、落
ちついて質問できたので
よかったです。他の人の
質問では、中学校のプー
ル設置についてや野良犬
の増加についてなど、学
校や地域について様々な
場面の課題がありました。

子ども議会に参加して、
とても貴重な体験をする
ことができ、また、政治
について興味を持つこと
ができたので良かったです。
す。

子ども議会に
加して

5 吉永 結議員

僕は今回の議会終えても僕たちの質問に対して、みて、町の議会のやり方とてもわかりやすく説明などどのような流れで議会をすすめているかなど、たくさん学ぶことができませんでした。子ども議会では、各学校の生徒が普段の生活のなかで問題点を見つけて、各課長に質問をしているところがしっかりと問題を解決させようとしていてすごいなと思いました。僕も緊張していましたが、町の問題点を質問できてとても貴重な体験ができました。町の方

も僕たちの質問に対して、とてもわかりやすく説明していました。驚いたことは、細かな数字まで説明されていたのでございます。僕は、このような子ども議会を開いてくれた町長さんをはじめ、たくさんの人たちに感謝してきました。そして私たち中学生も町の問題と向きあっていけるようにして久米島をいい島にしたいです。

子ども議会に
加して

6 仲道 正恭議員

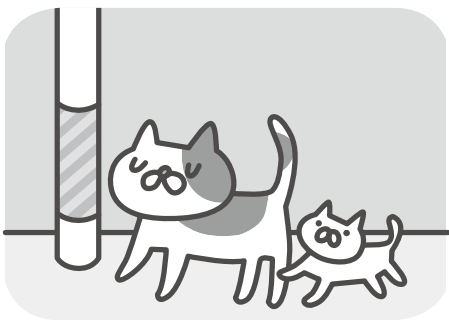
私は、子ども議会を振り返り、まず思ったことは参加して良かったということ。私は人前に出て話すことが苦手なためこの子ども議会を通して苦手を克服することができました。

また、日々の生活の中で感じる疑問を町に質問して町としてどのような対策をおこなっているのかを知れて良かったです。

今回この子ども議会に参加して、自分の苦手な人前にでて話すことの克服、そ

して日々の生活の中で感じていた野良猫のことについて、町の対策を知れて良かったです。

とても良い経験になりました。



子ども議会に
参加して
感想文

7 富永華名議員

今回私は、久米島町子ども議会に参加して議会のしくみやきまり、進め方などを学ぶことができました。

この子ども議会は、私

学校の授業で議会について習い、どのようなかイメージはしていましたが、実際に議会に参加してみると思ったより難しくとても緊張しました。

私ももっと久米島の現状について知り、久米島のために自分たちに何ができるのかを考えながら生活していきたいと思いました。

私は、久米島町の free wifi 環境について質問しました。役場の方の答弁は少し難しいなと思った部分もあり

子ども議会に
参加して
感想文

8 大田明宏議員

僕が、今回子ども議会子ども議員をやったの感想は、本当の議会の場で質問や再質問を自分で考えて、久米島の課長の方たちに質問することによって、質問や再質問を

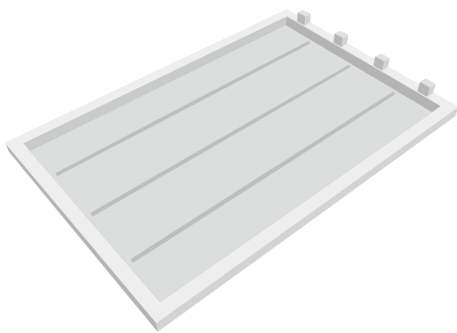
僕が、今回子ども議会
子ども議員をやったの
感想は、本当の議会の場
で質問や再質問を自分で
考えて、久米島の課長の
方たちに質問することに
よって、質問や再質問を

発表するときのきんちょう感などを知ることができました。

また、僕は、学校のプールの設置について久米島町の課長の人たちに質問し、BGプールなど

このからは、もっと議会の仕組みや役割をもっとくわしく知りたいです。

また、僕は、学校のプールの設置について久米島町の課長の人たちに質問し、BGプールなど



子ども議会に
参加して

9 新垣 海矢議員

普段は政治とかあまり興味がありませんでしたが、今回の子ども議会をきっかけに身の周りの出来事や生活について深く追求することができました。

ああやって何度かテレビで見たことのある議会が作りあげられているんだと思うと、また一つ新たな経験ができた、嬉しい気持ちでいっぱいです。

議会の中にはとても緊張感があり、本当の議会もこんな感じなんだと感心しました。

僕たち質問側が意見を述べると、応答側の方々が僕たちの意見を取り入れながら、わかりやすく答えてくれました。久米島のことをちゃんと考えていきます。

子ども議会に
参加して

10 新垣 ひなた議員

今回、子ども議会に参加して、改めて町をより良くするにはどうすればよいかを考えるきっかけとなりました。中学生の視点から疑問や課題を考えて見つけ、調査して様々な人の意見を聞くのが楽しかったです。

私は中高生の塾について質問しました。一回目の一般質問ではほしかった答えをもらうことができましたが、二回目の質問では論点のずれたイメージと違う答えが返ってきたのでとても残念でした。「子ども」議会だから、

中学生だから、再質問も一回しかないからといって正面から向き合わないのはおかしいと思います。また、選挙権のない中学生の意見を聞くことは、町にとつてのメリットも大きいはず。次回はあるのであれば、きちんとした答弁をお願いしたいです。

私は、子ども議会で久米島町の実態を知ることができました。これから日本を担っていくのは私たちなので、貴重な体験ができてよかったです。

子ども議会だより
第71号

11 伊良皆 唯斗議員

僕が子ども議会を通して学んだことは、議会というものは、本当に久米島をより良くしようとしていることです。自分達の住む久米島の悪い所、課題点を見つけて、その改善方法をみんなで考えると分かりました。

又、自分の意見を伝えるのは、改めて難しいと思いました。議会の人達は、意見を伝えるのに、何カ月も時間をかけたからです。あまり時間をかけなかったら、自分の伝えたい意見が伝わらなったり、伝わりにくくなるからだと思います。

このことから、僕は相手に意見を伝える難しさを改めて実感することができました。このような機会を与えてくれて本当にありがとうございました。



子ども議会だより
第71号

12 與座 美穂香議員

子ども議会を通して、久米島町をより良いものにする為、中学生ながら議論をすることができて、とても嬉しく思います。

私は、普段の学校生活を通して、登下校時の安全について質問をしました。一般質問後の答弁内容から、通学路の安全を確保するためには町だけではなく県からの協力も必要だと分かりました。

そして、再質問では、最近の日本の自然災害の現状を踏まえたうえで、更に質問を掘り下げることが出来ました。

それから、他の議員の一般質問では、視野を大いに広げたものばかりで、自分自身が社会の一員であることに強い自覚を持つことが出来ました。特に、富永議員がした「久米島の f e e w i f i 環境について」の質問は、今や生活に欠かせない物の一つに注目して生活利便性の向上について考える良い機会になりました。

これからは、議会の役割や仕組み等を更に理解したうえで、地域や政治への関心をより深めていきたいと思います。

子ども議会
参加して
感想文

13

阿部 胡葉紅議員

子ども議会は、子ども達の声が大人たちに届いてこれからの久米島をどうするのかということを考えて儲けられる大切なものなんだなと思いました。大人たちの前で自分の意見を発表するのは緊張しました。でも、私の意見に対する答えを細か

か、自分が相手にして欲しい事などを具体的に言わなければならぬんだとわかりました。だから、文章を考えるのはとても難しかったです。

私は、子ども議会を通して、自分の意見を持つことの大切さに気づきました。だから、どんなときでも自分の意思を持って、相手に伝えられる人になりたいです。

会では、自分の意見を相手に伝える際、どうしたら真剣に考えてくれるの



子ども議会
参加して
感想文

14

上間 美采議員

私は今回の子ども議会で、普段は知ることのできない議会のしくみ、進行の仕方、議場での決まりを、知ることができました。

私の質問に対して、役場職員の方々は分かりやすく答弁してくださいました。準備の段階で意見書を作るにあたって久米島町について調べ、改めて久米島の良さ、課題点を見つけてことができました。普段の暮らしの中で気づかなかった所にも目を向ける事で新たな発見もありました。

又、他の生徒の意見を聞き、自分自身の考えも変わり理解を深めることができました。

将来、自分が選挙権を持つ事を考え、久米島町のためにも、自分の意思をしっかり持てる大人になりたいと思います。

初めての議長で、大勢の人がいる中で緊張した部分もありましたが、とても良い機会になりました。今回の体験を今後の自分に活かしていけたらいいなと思います。



翁長 学 議員

問 町の助成金は

答 継続助成

翁長 現在、町から各産業、団体等に助成が出ている。2年度も継続をお願いしたい。農業関係、商工業関係その他助成。

町長 産業振興課で助成している。各種助成について2年度も継続する。

商工観光課長 商工業は今年度の予算ベースで行き、組組の織子の育成、製造業、各事業の商品は、販路が重要で販路開拓事業で支援して行く。

翁長 サトウキビ、畜産の助成金は今年度と変わらないか。又、漁業関係は。

産業振興課長 サトウキビ、畜産は、今年度と同じ35%の助成。漁業は、マリンプワー

事業で漁具の補助、一括交付金で漁業従事者の所得向上に取り組む。

問 病害虫対策を

答 確認して対応

翁長 県内において、ツマジロクサヨトウの発生が確認されているが対策はどう進めるか。

町長 農家により情報が寄せられた場合、役場、久米糖、JA駐在普及員で確認して情報交換する。

産業振興課長 11月に本町でも発生して2、3日後に農家が早速防除した。役場に一報をいただければ確認して対応する。

翁長 今回の進入に関しては、初期の段階で処置が早かったということで、蔓延が防げた。今後の対応は。

産業振興課長 農事懇談会の中で情報提供、一月の区長会での農家にチラシの配布、可能性のある畑においては情報を提供していく。



盛本 實 議員

問 経済政策の強化を

答 町独自の経済政策を図る

盛本 人口減少に伴い産業振興への阻害をはじめ商店街の衰退、久米島高校の存続や、今後顕著化してくるであろう小学校の統廃合等々を含め色々な問題が山積している。これらの問題を解決する為には移住・定住の推進や福祉・教育の充実が必須条件である。この問題解決の一つの方法として経済政策の強化が必要だと思われるが今後の経済政策は。

町長 地域資源を有効に活用して、地方の個性や優位性を活かし、尚かつ多様性、個性化する需要に応えられる政策を実施する。

盛本 地域資源の活用及び地方の個性、優位性とは。

町長 他地域との差別化を図れる海洋深層水関連事業への

強力な取り組みを進めると共に、経済の課題に取り組むための「公・民・学」連携の組織を立ち上げる。

盛本 海洋深層水事業を核とした久米島モデル事業の経済効果が約80億円、雇用効果が約千五百名との調査結果があるので町としてもこの事業を迅速かつ強力に進めるべきである。

問 甘しょ基腐病緊急対策を

答 関係機関との協力により対策を図る

盛本 近年、本町においては甘しょ基腐病が蔓延し抜本的な防除対策が見つからず生産農家においては、危機的状況にある。行政としての対策支援は。

町長 ペンレート水和液に浸しての植え付け指導及びバイオ苗や病気に強い苗を導入し農家へ配布を行っている。

盛本 他地域（宮崎県、鹿児島県）は国からの対策補助金があるところですが、沖縄県ついでにの状況は。

町長 今後、県や国に要望していく。

盛本 県内でも特に久米島町が最も被害が大きいため、今後持続可能な甘しょ産地を形成して行く為にも町の関わり方が非常に重要だと思つので、関係機関と調整を図り早急な対策を望む。



宇江原 総清 議員

問 鳥島射爆撃場の早期返還を

答 異常値観測されていない

宇江原 以前の議会で本件に関し、放射能汚染の可能性が高いのでは、と質問した結果、前町長から「風評被害」のそしりを受けた。ところが五月八日の沖縄タイムス紙に「被ばくの恐れ鳥島未調査、米軍二〇一〇年九月まで」とか、劣化ウラン弾汚染の危険度を最も深刻なものから3分類した図が載ったアメリカの公文書がある。

町長 外務省に確認したが、未だ確認が取れない。日本分析センターの毎年の調査でも異常値は検出されていない。

宇江原 劣化ウラン弾を打ち込んだ犯人の米国が危険だと言っている。また、日本分析センターは官僚の天下り先だ。官僚は虚偽、証拠隠滅の総

合商社だ。二〇年の契約の中で十年後に再協議するのか。その際、返還要求は。

総務課長 今資料がないので、確認後報告したい。

宇江原 射爆撃場は、チェルノブイリ同様、石棺すべき。

問 ふれあい公園の越波問題等

答 関係機関等と調整したい

宇江原 ふれあい公園は、何度も越波に遭い、甚大な被害だ。中には「床まで浸水し、死ぬ思いをした」と恐怖を語る人もいた。コンクリ護岸では嵩上げでも波は登る。工法として、石積みの傾斜として、石と石の間の目地にはハマシタ、クサトベラ、モンパノキ等海岸植物を活用する。

町長 効果が発揮できるか、条件等において、課題が山積していると思われるので、沖縄県に照会したい。

問 真泊の避難道路の延長を

答 整備計画には入っていない

宇江原 本件道路は、涙石付近までの延長を、当時七千四百万円の一括交付金で計上施工された。二〇一五年六月定例会で、当時の総務課長が「涙石、烽火台等も併せて行ける進入路の整備をする」と答弁。

町長 涙石や烽火台等は整備計画に入っていない。

宇江原 当時の総務課長が「涙石、烽火台等も併せて行ける進入路の整備」と答弁していた。町長が代弁者の答弁を否定しない限り、町長の答弁だ。

他にもこんな質問

問 謝名堂―宇根間の県道89号線の道路拡張工事について



吉永 浩 議員

問 若者議会を

答 環境を整える

吉永 町として若者の推進力、行動力をまちづくりに活かす考えはあるのか。

町長 若者の数が減り、地域毎の青協等の活動が厳しいと認識・若い世代が自発的に意見交換の場を作ればしっかりと対応していきたい。

吉永 自発性を町がどのように引き出していくのが重要。若者を巻き込み若者政策を推進し、若者視点でまちづくりを進める事で、魅力が高まり、人が集まってくる。そんな仕掛け作りも必要では。

町長 前向きにやっていきたい。

吉永 若者が活躍するまちづくりが、島の未来を切り拓く突破口、原動力になると考える。大田町政で実現を。

町長 地域活性化の度合いは、若者の活躍できる場がどれだけあるかが一つの指標、

若者の自発性を大切にしながら、会議が発足できる環境を整えていく。

問 行政懇談会は

答 まちづくりに反映

吉永 町民の声を今後どのように活かすか。

町長 すぐできるものと予算が伴うもの。各担当課で検討させ対応させる。

教育長 教育政策の参考にしていきたい。

副町長 何が必要なのか直に聞いた。限られた予算の中で優先順位を付け、どの様に反映させるか庁議等で議論していきたい。

問 角力の文化財指定を

答 前向きに検討

吉永 久米島の沖繩角力を町

指定の文化財にできないか。

教育長 久米島は角力のメッカ。その独自性や特徴、技能を体現できる団体の活動等を調査する。

吉永 沖縄県でも、角力における久米島の取り組みは注目されていると聞く。その文化を守り、育て、島の魅力につなげていく為にも推進すべきでは。

博物館館長 文化財指定には技術的な面と民俗文化との2つの側面がある。文化財調査審議委員会の意見も踏まえ判断する。

教育長 久米島の独自性という点ではありうる。審議委員会の中で前向きに検討して参りたい。

他にもこんな質問

問 子ども子育て支援進捗は



赤嶺 秀徳 議員

問 子どもの貧困の実態把握は

答 久米島町子ども調査を実施

赤嶺 子どもの貧困問題は県においても最重要課題である、実態調査と対策は。

町長 久米島町子ども調査を実施、子ども子育ての支援を検討する。貧困対策として要保護、準要保護、児童生徒就学援助事業を実施している。

問 ハーベスタ導入基準は

答 農業機械整備計画に基づく

赤嶺 ハーベスタ導入の基準、申請に必要な書類、基準を満たせば誰でも可能か。導入までの期間は。

町長 基準は久米島町ハーベスタ等農業機械整備計画に基

づき、応募申請書や添付書類要件を満たした法人で、個人では出来ない。申請から導入までは一年。



事業導入のハーベスタ

問 小中学校への冷房設置は

答 2年3月25日までに終了

赤嶺 小中学校普通教室への冷房設置の進捗状況は。

町長 2年3月25日までに全ての学校の設置を完了する予定。

他にもこんな質問

問 街灯の設置について

問 儀間川の環境整備について



新垣 幸子 議員

問 学校教育予算の増額を

答 学校の学習環境は着実に充実

新垣 2年度から子供たちの「生きる力」を育む新しい学習指導要領のもと学校教育が展開される。そのことにより学校図書館や新聞、コンピュータの情報処理の整備等の教育環境と消耗品、備品、教育教材を充実する必要があるが見解を伺いたい。

教育長 学校教育予算は10年前と比較すると幼児児童生徒が役二百人減少するなか約七千万円増の約六億三千六百万円である。

新垣 地域人材活用回数を増やすことによる報酬の増額要望、プログラミング的思考の育成やコンピュータ等を活用した学習活動の充実において人材や予算の確保が急務。学校施設修繕費の確保も大きな課題であるが。

教育課長 学校の要望を聞き、安全面確保や優先順位を付けて予算措置をしている状況である。

新垣 教育費が他市町村と比較して約8%で低い。

町長 人材育成教育には金をかけるべきだと思っている。

問 臨床心理士の町職員としての配置を

答 福祉・教育部門で検討

新垣 就学時検診において気になる子が4人に1人いる状況や就学支援委員会について検討する児童生徒が増加傾向にあることや生活困窮、引きこもり、介護、悩みをかかえている方への支援等、子供から大人まで個々に応じた相談しやすい環境作りが急務であり早めに配置してほしいが。

町長 現在、親子支援事業として島外から臨床心理士を活用して療育や個別相談、5歳児検診、保育士研修等を実施している。業務量や効率性、雇用形態も含めて検討する。

新垣 臨床心理士とは臨床心理学に基づく知識や技術を用いて、人の心の問題にアプローチする心の専門家である。支援を要する気になる子が保育園児から中学生まで合計67人いることや悩みを抱えている大人の方が多い状況であり早目の配置を。

福祉課長 福祉課における専

門職の採用について臨床心理士も含め優先順位を協議する。

問 こども医療費助成の対象者の拡大を

答 3年には中学校卒業まで拡大するよう進めたい

新垣 通院についても中学校卒業まで拡大できないか。

町長 3年には、中学校卒業まで拡大するよう県に要望を行っている。

新垣 子育て環境を良くしたいということ、人口増にも繋がるので是非とも対象者の拡大を。

福祉課長 3年から拡大できるように医療機関と調整し進めていきたい。

他にもこんな質問

問 子育て支援連絡協議会の設置について

問 インフルエンザ予防接種助成について

問 幼稚園の給食について



富永 肇 議員

問 本町のスポーツ振興と経済効果は

答 スポーツコンベンション協議会の強化

富永 プロ野球や大学野球のキャンプの経済効果は。

というのは施策に掲げているので協議会を強化していく。

していく。

町長 毎年およそ2億5千万円前後の経済効果、テレビ等の波及効果がある。

去年、今年と開催された子ども議会だが、久米島町の課題をしっかりと捉えている内容であった。これを議場経験で終わるのではなく、受け

富永 昨年、今年と開催された子ども議会だが、久米島町の課題をしっかりと捉えている内容であった。これを議場経験で終わるのではなく、受け

富永 楽天球団とのキャンプ契約交渉について。

問 小中学生の体力運動能力は

町長 毎年キャンプ継続期間の延長の要請を行っている。

答 学校カリキュラムに位置づけられるか今後検討していく。

富永 野球以外のキャンプ誘致は。

富永 小中学生の体力の運動能力が低下傾向にあるが。

町長 町としては誘致活動を行っているが、今後検討する。

教育長 毎年、投げるもの、跳ぶもの、力を入れるもの、力を入れる握力などは全国を上回っており、柔軟性種目が下回っている。

富永 久米島町スポーツコンベンション推進協議会の活動は。

富永 授業の中で取り入れられるか。

富永 久米島町スポーツコンベンション推進協議会であるが協議会としての動きができていない。

教育課長 学習指導要領に則

富永 久米島町スポーツコンベンション推進協議会であるが協議会としての動きができていない。

教育課長 学習指導要領に則

富永 久米島町スポーツコンベンション推進協議会であるが協議会としての動きができていない。

教育課長 学習指導要領に則

富永 久米島町スポーツコンベンション推進協議会であるが協議会としての動きができていない。

教育課長 学習指導要領に則

問 他にもこんな質問
イーフビーチの砂の飛散について

実践していくことを要望する。



喜久里 猛 議員

問 バーデハウスのシャトルバスは

答 オーランドと協議

喜久里 以前は字仲村渠まで運行していたようだが、現在はどこまでか。また変更になった理由は。

町長 イーフ地域等のホテルや公共施設を巡回ダイヤが1日6便。旧具志川村方面のホテルや公共施設を巡回ダイヤ1日4便運航、利用者が皆無に近い状態になったことから、24年9月に廃止した。

喜久里 そもそもバーデハウスを設立した目的は何か、町民の健康増進、福祉向上の為に造り、町民を優先にしないで、経営優先は困る。年寄りは、車もないのでシャトルバスだけが頼りです。

町長 今後町民に向けてもシャトルバスの利用希望についても声を寄せていただいで対応できない部分もしっかり態勢をつくっていきけるようオーランドと協議していく。

喜久里 シャトルバスを復活させてお年寄りを安心させることを要望。

問 議員定数を

答 次期選挙にて前向きに検討

喜久里 議員定数は、10人程度に減らし、報酬を上げ議員が十分調査できるようにすると議会活動が活発になる。

町長 議員定数削減は、町民の要望も聞いており、議員定数は議会で議論することなので、議会の判断を尊重したい。

喜久里 報酬を上げたらと思うが、当然町の財政も厳しいから、その定数を減らして、定数が減った分に対して、報酬を上げては。

町長 25年3月の町行政改革推進委員会の中でも議論し方針を決めているので、その資料等を基に再度、今後について議論する必要がある。類似団体との比較しながら、町民の声もあるので行政としても次期選挙に向け、前向きに検討したい。

問 中央通りの追加街灯設置は

答 追加設置要望が多いため検討中

喜久里 中央通りを、メイン通りと位置付け、街灯を追加できないか。それと仲泊駐在所のフクギの剪定を行って欲しい。

町長 LED防犯灯を事業計画時に通り会の会長との調整を経て、28年度に現在の個所に設置しており、追加設置の要望が多数寄せられているので、検討中。

フクギについては、枝打ちを行う。

他にもこんな質問

問 図書館(複合型防災・地域交流拠点施設新築工事)の用地について

問 福祉ケアマネについて

問 久米島大綱曳きについて

問 カンジン地区畑かんについて

問 シンリ浜前のアオサ用鉄筋について



眞栄平 建正 議員

問 海岸漂着ごみの対策は

答 県と連携し継続的に取り組む

眞栄平 海岸線が漂着ごみで汚れ観光資源として十分生かされていない。対策は。

町長 町、県の対策事業を継続実施する。

眞栄平 海岸ごみの回収が進んでいない、何故か。

環境保全課長 回収、島外搬出量が膨大、多額の予算が必要。

眞栄平 県国への要請は。

町長 町のみでは対策は困難、町村会でも県国へ要請している。

環境保全課長 次年度に農業廃プラ処理の小型焼却機導入を計画。海岸ごみ処理が可能か検討。

問 猫被害対策を

答 関係団体と連携して取り組む

眞栄平 猫の糞尿被害、生態

系への悪影響、糞を介した健康被害を懸念。対策は。

町長 去勢避妊手術を継続実施する。

眞栄平 島内の猫の数、TNRの効率的な実施方法は。

環境保全課長 推定千頭、一定期間内に継続して去勢避妊手術することが効果的。

新年度予算調整中である。前年度の犬猫の苦情、相談が六百四十三件。

眞栄平 愛護団体がボランティアで捕獲、那覇へ移送手術しつけ、本土の猫カフェへの譲渡を百匹程行っている。町婦人会、ホテルの会、ボランティア団体、行政と連携した取り組みを。

町長 ねずみ対策等もあり、専門家の意見を聞き検討。

問 総合計画に基づく各課の計画の策定状況は

答 各課策定している

眞栄平 計画の進行管理はPCDA(計画、実施、確認、改善)実施を。観光振興計画は施策実施状況を評価しているが、評価は目標値(観光収入29憶円増等)をどれ程達成したかを評価すべき。検討を。久米島活性化グランドデザイン積極的に情報収集、提供を。

町長 行政がやるべき調査は行っており、それにより判断したい。

問 他にもこんな質問
赤土防止対策について



玉城 安雄 議員

問 成果を示せ

答 成果の出ている事例を示す

玉城 第2次久米島町総合計画は生まれるから老いるまで8つの島づくりの目標、テーマを掲げ推進しているが成果を伺う。

町長 生まれる、育つのテーマではこれまでの助成金に加え出産祝い品の贈呈を行っている。

玉城 金銭の助成も重要だが安心して子供を産み育てる環境整備も必要だ、島外で安価で宿泊できる施設も必要と考えるが。

町長 県の事業もあるが不充分である整備については粘り強く要請していく。

町長 30年度はファミリーサポートセンターを立ち上げ子育て環境の整備に努めている。

玉城 学ぶ世代と暮らす世代で複合型防災交流拠点施設を整備して図書館及び住民や観光客の避難場所の機能も備え

ているとしているが観光情報フロアーの設置は考えていないか。

教育課長 図書館の中では考えていないが隣接する博物館と一体となって相乗効果があるように取り組む。

玉城 悪天候や雨天時の観光が本町の課題である、図書館の貸し出しについて観光客も対象にするか。

教育課長 他自治体でホテルに本を貸し出す事例もあるので参考にしながら検討する。

玉城 暮らしのテーマから現在移住の成立件数は。

企画財政課長 95名の移住がありもろもろの事情で2名断念をして現在は93名である。

玉城 仕事や住居の問題があると聞くが、空き家を利用した住居の対策は。

企画財政課長 移住者の大半が一軒家を希望している。空

き家の実態調査を進め空き家等利活用計画を策定し検討する。

問 バーデハウスの今後の運営は

答 第3セクター事業の意義を検討し決定する

玉城 第3セクターについての見解を伺う。

町長 バーデハウスの経営が厳しい状況であることから、久米島町第3セクター等経営評価委員会を設置し検討している。調査報告をもとに今後の運営方法を決定する。

玉城 バーデハウスについて今後の見解は。

町長 運営については、早めに結論を出し利用者からすれば非常にいい施設であるので継続して使えるよう取り組む。



東江 浩明 議員

問 堆肥センターの現状と今後は

答 大学との技術提携検討

東江 現場と役場より4名を技術向上目的に視察再度指導を受けたが、その後の状況は。

産業振興課長 一次発酵まで改善され、水分調整発酵で70度以上に一次発酵できている。

東江 良質な堆肥を早い時期に供給できるように要望があると思うが進展は。

産業振興課長 生産ラインを50日目標出荷と考えるが現状百日余りかかる。

東江 久米島の土壌菌が、完熟度日数短縮や品質向上に貢献できると考える。土壌菌を牛糞へ付着させ一ヶ月後、臭いが軽減し尿の臭さがなく、どのような菌か実験し堆肥センターにおいて活用出来ないか琉球大学農学部と連携体制を取り組む考えはないか。

町長 農地改良において普及センターとも連携を取って、東京の玉川大学と技術提携・応援協定も結んでおり、琉球大学とも提携を前向きに検討したい。

第2回

子ども議会を終えて

議会議長 玉城 安雄

11月7日(木)午後2時より第2回久米島町子ども議会が久米島西中、球美中の3年生を対象にした14名の子ども議員による議会が開催されました。日々の生活の中で、日ごろから感じていることや疑問に思っていることなど調査し、課題解決のため自分の言葉でしっかりと一般質問をしている姿を見て頼もしく感じました。

子ども議会の感想文からもうかがえるように議会の仕組みや、自分たちの意見の大切さ、政治に対する関心が持てたと述べています。今回の子ども議会を通して子ども議員の皆さん、傍聴した生徒の皆さん、また町にとっても久米島を見つめ直す良い機会になったと思います。

さらに、子ども議員の皆さんにおいては、今回の子ども議会に参加し、感じたことを久米島の自然や歴史、文化を大切にしながら、久米島に生まれ育つたことに誇りを持ち、今後の町づくりに関心を持って考えていただければ大変ありがたいと思います。

最後に、子ども議会を開催するにあたり、ご協力頂いた教育委員会をはじめ、両中学校の先生方、町執行部の皆さんに感謝申し上げます。

編集後記

令和という新しい時代に入り、年が明け令和2年度がスタート致します。議会も同じく改選が行われ、新体制がスタートしました。

「議会たより」は町民と議会をつなぐ架け橋であり、議会を知る重要な広報紙です。これまでより、内容も、デザインも見直し、「町民が読みたくなる議会たより」を目指し、広報委員会一同、取り組んで参ります。

今後は、町民参加型広報紙を目指していきますので、皆様のご協力、宜しくお願致します。

(吉永浩議員)

広報委員

吉 永 浩
赤 嶺 秀 徳
宇江原 総 清
真栄平 建 正
富 永 肇



■令和元年11月 ■■■■■■■■

- 3日・久米島町文化祭に議長出席
- 7日・第2回久米島町子ども議会に議長出席
- 11日・南部地区市町村議会議長会行政視察に議長出席
- 12日・第38回離島市町村議会議長全国大会に議長出席
- 13日・第63回全国町村議会議長全国大会に議長出席
- 15日・離島フェアに議長出席
- 16日・古武術国際セミナー歓迎レセプションに議長出席
- 19日・久米島町獣魂祭に議長出席
- 28日・うまんしゅ交流会に議長出席

■令和元年12月 ■■■■■■■■

- 1日・久米島町産業まつりに議長ほか議員出席
- 2日●議員全員協議会
- 5日●第9回臨時会(初議会)
- 6日・タイムス物産展に議長出席
- 9日・JA久米島支店組合員交流の集いに議長出席
- 11日●議会運営委員会
- 15日・全国育樹祭に副議長ほか出席
- 17日●12月定例会
- 18日●12月定例会
- 19日●12月定例会
●広報委員会
- 20日・中村一雄氏人間国宝認定祝賀会
- 24日・会議録システム説明会に全議員参加

■令和2年1月 ■■■■■■■■

- 6日・野菜、花卉合同初荷式に議長出席
・製糖操業開始式議長出席
- 7日・町新年会に議長ほか出席
- 9日・消防出初め式に副議長ほか出席
・南部地区市町村議会議長会「定例総会」に議長出席
・南部振興会表彰式・祝賀会並びに令和2年南部地区関係団体合同新年懇親会に議長出席
- 10日・久米島商工会・観光協会合同新年会に議長ほか出席

- 12日・町成人式に議長ほか出席
- 15日・沖縄県町村議会議長会議員研修会に議長ほか出席
- 16日・長崎県議会議長会議長行政視察に議長ほか出席
- 17日・沖縄県後期高齢者医療広域連合全員協議会に議員出席
- 18日・久米島家畜セリ市場初セリに議長ほか出席
- 21日●議員全員協議会
- 24日・RAC謝恩会に議長ほか出席
- 25日・町新春書道展オープニングセレモニー、表彰式に議長ほか出席
- 28日・南部離島町村長・議長協議会「総会」に議長出席
- 29日・沖縄県町村議会議長会広報委員研修会・南風原町議会視察に議員出席
- 30日・楽天歓迎セレモニーに議長ほか出席



沖縄県町村議会議長会 広報研修会(29日)



南風原町議会 視察(29日)

議会の傍聴へ行こう

次回定例会は **3月9日(月)**開会予定

3月9日(月)は、町長の施政方針、議案審議を行い、
一般質問は、3月10日(火)・11日(水)に予定しています。
多くの方の傍聴をお待ちしております。

※開会してからは、議場への入室ができませんので、お気をつけください。(途中休憩がある場合は、入室可能です。)

仲里庁舎1階にて
一般質問の様子を
テレビモニターで
ご覧いただけます。